

●発行/公益財団法人しまね女性センター ●編集/情報Market編集委員
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ236-4 島根県立男女共同参画センター「あすてらす」
TEL 0854-84-5500(代) FAX 0854-84-5589 URL <http://www.asuterasu-shimane.or.jp/> E-mail asu-01@asuterasu-shimane.or.jp

島根県の男女共同参画推進月間にあわせ6月8日(土)に開催しました!

あすてらすフェスティバル2013

オープニング よさこい踊り「銀王国伝説」「はじまりはしまね」

そうまぎんかれん
出演: 沙摩銀華戀

華やかな衣装と笑顔で繰り広げられる演舞は、勇壮かつしなやかで、島根の歴史と豊かな自然の情景やそこに生きる人々の喜び溢れる様子が見事に表現されていました。また、子どもから大人まで、女性が中心となっていきいきと踊られる姿に、来場者から大きな拍手が送られていました。



講演 「介護は介互～“まさかの坂”も越えられる男女共同参画のススメ」

あつみなおき
講師: 渥美由喜さん

厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員(東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)

「誰もが人生の主人公。ワークにもライフにも真摯に向き合い、みんなが『良かった』と思えることが大切。」と明言

する渥美さんは、仕事も生活も大切にしながら豊かに生きることについて、介護を切り口に考え方や実践のコツをわかりやすくお話されました。研究者としてのデータに基づいた説得力ある解説に加え、2度の育児休業取得と父親の介護体験を通じた一人の男性としての人生観に、会場からは共感と感動の声が寄せられました。

幸せに生きるための道しるべとして、周囲を巻きこんで協働しながらワーク・ライフ・バランスを実践されている渥美さんのお話は、現在介護をされている方々はもちろん、これから介護を迎える方々にとっても、多くの気づきを促し生き方を振り返るよいきっかけとなりました。





分科会

県内の4団体が日頃の活動に関連した内容の学習会等を企画運営し、参加者とともに学びました。その様子を紹介します。

◆第1分科会◆

「もしもの時に生きる！
避難所運営ゲームを体験学習しよう！」

企画・運営:ふぞろいな女男組(県男女共同参画サポーター有志)



東日本大震災以降、注目の集まる避難所運営。ここでは、男女共同参画の視点を取り入れるための課題や要点を模擬体験で学びました。会場には、災害時の簡易トイレや、仕切り板など普段目にする機会がない防災グッズも参考として展示。今回の主催は安来市と江津市の男女共同参画サポーターを中心に結成された団体ですが、「ふぞろい」の名の通り、メンバーや地域を固定せず、県内各地のサポーター同士で連携して様々な活動を展開したいとのこと。今後も市町村の枠を越えた活躍が期待されます。

◆第3分科会◆

「ジイとヤングが絵本で繋げる友達の輪」
企画・運営:ゆるりの会&グランパ in 雲南



年齢差は3回以上?! 雲南市のイクジイ(育児に積極的な中高年の男性)による読み語りグループと島根県立大学の読み聞かせサークルが1日限定コラボレーション。普段は地元を拠点として別々に活動する団体ですが「絵本は世代を超えて人と人の心を繋ぐ」という想いは同じです。各々の持ち味を活かした絵本の読み語りや紙芝居の実演のほか、2団体の混合メンバーによる寸劇の披露に、会場には笑顔が溢れ、県内各地から参加された方々の心が繋がる楽しい時間となりました。

◆第2分科会◆

「みんなで話そう 看護って何？」
企画・運営:公益社団法人島根県看護協会

病院や訪問での看護など身近なことから災害支援まで、看護について地域のみなさんに情報提供しながらともに考えたいと企画されたこの分科会。病院に勤務する新人看護師の奮闘や、訪問看護師の仕事の様子、震災の救護活動に派遣された看護師の体験談など、様々な現場での活躍ぶりが紹介されました。また、参加者同士が交流を図れるよう工夫されたグループワークでは、「自分と看護のかかわり」をテーマに、患者として、看護する側として、異なる立場から経験や悩みなどの意見が交わされ、白熱したトークで盛り上がっていました。



◆第4分科会◆

「映画『ベアテの贈りもの』
~私たちが語り伝え、受け継いでいくこと~」
企画・運営:公益財団法人しまね女性センター

『ベアテの贈りもの』は、日本国憲法に男女平等を書いたアメリカ人女性、ベアテ・シロタ・ゴードンさんの功績と、それを受けて活動展開を進める日本女性たちを描いたドキュメンタリー。日本女性の幸福のために尽力されたベアテさんが昨年12月に亡くなられたこともあり、いま一度足跡を振り返りながら、彼女が遺した大きな「贈りもの」の意味を考えるこの上映会では、日本の男女平等を願うベアテさんの力強い想いに触れ、参加者が今後の活動や生活に活かす機会となりました。





県民自主企画

啓発パネルの展示、ワークショップ、手作り食品、手芸品や地元特産品の販売など、34団体が出展され、来場者との交流で各会場とも賑わいました。

展示・ワークショップ



販 売



CAFE 情報 Market



私たちが出展するカフェへは、毎年楽しみに来られるネットワーク会員さんをはじめ、情報 Market 編集委員のそれぞれの活動の仲間も加わり、各地域での男女共同参画社会に向けた活動を聞くことができます。一つ一つ積み重ねていったものがあすてらすフェスティバルに集うことで繋がり、その素晴らしさをカウンター越しに実感しています。来年も皆さまの素敵な笑顔にお会いできることが楽しみです！

(けい)





〔分類番号：女性問題599.04ア〕

イクメンで行こう！

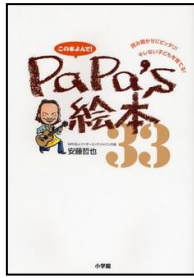
-育児も仕事も

充実させる生き方-

渥美由喜／著

日本経済新聞出版社（2012/12）

女性の社会進出により、男性の育児参画も必定となる。しかし、実際に育児休業の制度を利用できているのは、一部企業の男性にすぎず、取得期間も短いなど、名実ともにイクメンと呼べる男性はまだまだ少ないのが現状である。ワーク&ライフを充実させるコツは、いかに効率よく仕事をこなすかであり、この本はそのためのヒントが盛り込まれた参考書とも言える。（はっしー）



〔分類番号：019.5ア〕

この本よんで！

PaPa's 絵本33

安藤哲也／著



小学館（2008/12）

「子育ては、次の世代を育てる大きなプロジェクト」と言う著者が、パパならではの視点で大人心をくすぐる絵本をセレクト。絵本の紹介に併せてパパの心情と子ども目線の四コマ漫画も面白い！仕事人間だった著者が、子育て、地域活動デビューを果たし、今では「仕事と子育てどちらも生きがい」と言うだけあって、見事にワーク・ライフ・バランスを実現している。子どもとの最強のコミュニケーションツールとなる絵本を探したくなる一冊。（白くま）



〔分類番号：女性問題367.19シ〕

女って大変。

働くことと生きることの

ワークライフバランス考

澁谷智子／編著

医学書院（2011/11）

この本には10人の働く女性がそれぞれの「大変」な経験を通じて培った生き方が本音で綴られている。自身の求める働き方の理想と、子育てや介護など目の前の出来事に翻弄させられる現実との間で悩み、葛藤し、ときにはため息をつく。それでも、よりよい方向へ努力し、前向きに明るくその「大変」を乗り切ってきた生き様は、感動的である。「女って大変」と感じている女性たちに、ぜひ読んでほしい。（なな）



information

●情報ライブラリーでは、所蔵資料を紹介する目的で毎月テーマを決めて書籍等の展示・貸出を行っています。●8月のテーマは「夏休み特集 おすすめの一冊」です。●テーマ展示や新着図書、DVD等の情報はホームページで随時お知らせしています。どうぞご利用ください。 <http://www.asuterasu-shimane.or.jp/lib/>

あすてらすフェスティバル2013
CAFE 情報 Market での
つ・ぶ・や・き
テーマ：男女共同参画



カフェでほっと一息。
会員さんおふたりの
「つぶやき」を
お聞きください♪

いくら男女共同参画の世の中でも和牛の振興委員会の中で男性は70人。女性1人はかわいそうだね。でも、自分の想いだけは、しっかり伝えるよ。女性だからといって遠慮していたらすごく悔しいもん！女性の元気な地域は、発展するとか。暗いともいわれる大田市、陽のあたる坂道を日傘なしで歩きましょうか。
*ペンネーム：ミーにゃん

72歳になって、40年務めた町議をやめた。まだ生活のリズムが切り替えられない自分にフト苦笑いする。妻と合わせて140歳を越えた老夫婦が99歳間近の老いた母を介護する「老老介護」の毎日だ。妻はヘルパー、私は福祉法人の運営者で、わかっているのに言葉が荒くなる。“言行ふいっちな族”とはよくいった。
*ペンネーム：にっかつ

あなたの情報
をお待ちして
います！

本紙の内容について、ご意見、ご感想をお寄せください。また、みなさまの活動についての情報や報告等もお待ちしております。住所・氏名(グループ名)・電話番号を明記の上、郵送、FAX、メールにてお送りください。原稿は400字以内(「つぶやき」は140字程度)、イラスト等は葉書大以内でお願いします。掲載させていただいた方には、500円分の図書カードをさしあげます。

送付先、お問い合わせは、公益財団法人しまね女性センター 事業課まで♪

